

平成27年度スーパーグローバルハイスクール構想調書の概要

指定期間	ふりがな	おおさかきょういくだいがくふぞくこうとうがっこうひらのこうしゃ				②所在都道府県	大阪府
27～31	①学校名	大阪教育大学附属高等学校平野校舎					
③対象学科名	④対象とする生徒数					⑤学校全体の規模	
	1年	2年	3年	4年	計	普通科 358名	
普通科	123	117	118		358		
⑥研究開発構想名	多面的に“いのち”を考えるグローバルリーダーの育成						
⑦研究開発の概要	アソシエイト校の実績をいかしながら、 <b>I. 国内外のフィールドワークを含む課題研究の充実、II. 全教科におけるアクティブ・ラーニングの導入及び学校設定科目「生命の倫理」「公共と経済」の新設</b> により、多面的に“いのち”を考えるグローバルリーダーを育成する。 また、 <b>III. 独自の評価指標を開発しカリキュラムの改善</b> を図る。						
⑧研究開発の内容等	⑧-1 全体	<p>(1) 目的・目標</p> <p>多面的に“いのち”を考え、グローバル課題を発見し、解決に向けて主体的にアクションを起こすことができるグローバルリーダーを育成するために必要な資質能力として、  <b>「4つの力」(課題解決力、コミュニケーション力、多文化理解力、セルフマネジメント力)</b>を育成する。また、カリキュラム改善のための独自の評価指標を開発・検証し普及させる。</p> <p>(2) 現状の分析と研究開発の仮説</p> <p>[生徒の現状分析] 教員による分析及び1年生に実施したPROG調査(様式6参照)の結果、強みは、意見主張力、主体的行動力であり、向上させるべき力は、<b>課題解決力</b>(特に情報収集・分析力、計画立案力)と<b>セルフマネジメント力</b>であった。また、海外での学修・就職希望者は多いが、体験不足による<b>自・他文化理解</b>の不足や外国語による<b>コミュニケーション</b>の苦手意識から、“世界”へ踏み出すことを躊躇する内向き志向の者もいる。</p> <p>[研究開発の仮説]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「いのち”をテーマとした課題研究の取組」及び「教科」の学習を通して、  「4つの力」を身に付けさせることで、次代のグローバルリーダーを育成できる。</p> </div> <p>(3) 成果の普及</p> <p>① 開発した課題研究の指導方法・教材・評価方法(平野メソッド)を整理し、出版する。 また大阪教育大学の教員志望の学生や現職教員に情報発信する。</p> <p>② SGH校や海外高校の生徒が参加する「課題研究成果発表会」を主催し、成果を発信する。</p> <p>③ グローバルリーダーの資質能力に関する評価指標を検証し、普及させる。</p> <p>④ 取組に関する学校関係者対象の発表会を毎年行い、成果と課題を発信する。</p> <p>⑤ 本校ホームページ(英語/日本語)に情報公開、生徒の研究成果を動画サイトに投稿する。</p> <p>⑥ 大阪市等の地域産業交流会で、ビジネスモデルを企画し、発表する。</p>					
		⑧-2 課題研究	<p>(1) 課題研究内容</p> <p><b>テーマ：「いのち”をつなぐ、守る、支える」ためのアクションプランの提案・実践</b></p> <p>“いのち”という包括的テーマを多面的に考えることは、グローバルリーダーにとって不可欠である。そこで、アジア・大阪をフィールドにした研究領域①～③を設定する。</p> <p>① 医療・保健…乳幼児の高死亡率や感染症、高齢者介護等について、制度、文化、政治、風土等の視点から探究させる。[例] 日本の母子手帳の特徴を考察し、識字率などアジアの文化風土を勘案した母子手帳を作成し、普及の方策を提案する。</p> <p>② 防災・減災…有事・平常時におけるまちづくり・くにづくり・ひとづくりについてレジリエントな視点から探究させる。[例]「大阪の防災マップづくり」の学習成果に基づいて「タイの防災マップ」を作成し、普及の方策を提案する。</p> <p>③ 格差・貧困…格差や貧困の現状と背景を学び、ソーシャルビジネスやNPO・NGO</p>				

<p>⑧ -2 課題研究</p> <p>⑧ 研究開発の内容等</p>	<p>等を参考にして、その解決方策を探究させる。[例]大阪及びタイにおける格差・貧困問題の原因を探究し、解決のための具体的な提案・発表をする。</p> <p><b>(2) 実施方法・検証評価</b></p> <p>○本校の課題研究における探究プロセス：「課題発見のための情報収集・分析」→「テーマの絞り込み」→「研究計画立案」→「課題解決のための情報収集・分析」→「考察・討論」→「具体的な提案・実践」→「評価」→「新しい課題発見のための情報収集・分析」…を繰り返して実践させることで、「4つの力」を育成する。</p> <p>○多面的に考える力の育成：各研究領域内での「グループ内討議」や「グループ間討議」、3つの研究領域を越えた「研究領域間討議」を意図的に組み入れる。各課題の背景にある共通点や相違点を理解させ、課題の解決方法を様々な視点から考えさせる。また、3年間を通して「個人→グループ→全体→個人→グループ→全体…→個人」の形態を計画的に組み入れることで、多面的に考える力を育成する。最後に、一人ひとりに包括的な視点で「いのち」に係わる提案」について考えさせ、総括論文にまとめさせる。</p> <p>○3年間の課題研究の実施方法 <span style="float:right">*FW：フィールドワーク</span></p> <table border="1" data-bbox="323 696 1441 1084"> <tr> <td data-bbox="323 696 368 808">1年 生</td> <td data-bbox="373 696 1441 808">           ① 3つの研究領域について、アジアと大阪の関係を理解する[反転学習・講義]            ② 大阪の課題をグループで研究し、成果を提案する[FW*・プレゼン・小論文]            ③ アジアの現状と課題について課題を発見する[反転学習・講義]         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="323 815 368 965">2年 生</td> <td data-bbox="373 815 1441 965">           ① 研修旅行（タイ、全員）で3つの研究領域の課題について認識を深める[FW*]            ② アジアの課題をグループで研究し、成果を提案する[FW*・プレゼン・小論文]            ③ 即興型英語ディベート及びタイ、フィリピン等の高校生と討論する[Skype]            ④ 研究領域間討議で新たな課題を発見し、更なる研究へ発展させる[ジグソー]         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="323 972 368 1084">3年 生</td> <td data-bbox="373 972 1441 1084">           ① 課題解決策を提案し実践につなげる[アクションプラン・論文(日・英)]            ② 意識の高い生徒を選抜し、提案の実現性について現地調査する[アジアFW*]            ③ 本校主催の発表会や各種コンテストで成果を発表する[プレゼン・総括論文]         </td> </tr> </table> <p>※高度な知識技能習得：大阪大学国際医療センターの講義受講(単位認定、希望者)。</p> <p>○学校設定科目「生命の倫理」「公共と経済」を新設し、課題研究推進に必要な基礎知識やスキルを習得させる。</p> <p>○指導体制：大阪教育大学、大阪大学(SGHに係わる協力協定締結。特に人間科学部、GLOCOL)、京都大学(レジリエンス研究ユニット等)、関西学院大学、サラヤ(株)、(有)ビッグイシュー日本、大阪市危機管理室等と本校教員が連携・協働し、生徒の研究活動を指導する。</p> <p>○検証評価：PROG 調査で生徒の変容を確認するとともに生徒へのヒアリングを実施する。また、課題研究の各ステージにおける生徒成果物をポートフォリオとして集積し、作成したルーブリック等をもとに「4つの力」の習得状況及びカリキュラムの有効性を検証する。</p> <p><b>(3) 必要となる教育課程の特例等</b></p> <p>「社会と情報」(2単位)を1単位に減じて「総合的な学習の時間」に振り替える。</p> <p>「保健」(2単位)を1単位に減じて学校設定科目「生命の倫理」(1単位)を設ける。</p>	1年 生	① 3つの研究領域について、アジアと大阪の関係を理解する[反転学習・講義] ② 大阪の課題をグループで研究し、成果を提案する[FW*・プレゼン・小論文] ③ アジアの現状と課題について課題を発見する[反転学習・講義]	2年 生	① 研修旅行（タイ、全員）で3つの研究領域の課題について認識を深める[FW*] ② アジアの課題をグループで研究し、成果を提案する[FW*・プレゼン・小論文] ③ 即興型英語ディベート及びタイ、フィリピン等の高校生と討論する[Skype] ④ 研究領域間討議で新たな課題を発見し、更なる研究へ発展させる[ジグソー]	3年 生	① 課題解決策を提案し実践につなげる[アクションプラン・論文(日・英)] ② 意識の高い生徒を選抜し、提案の実現性について現地調査する[アジアFW*] ③ 本校主催の発表会や各種コンテストで成果を発表する[プレゼン・総括論文]
	1年 生	① 3つの研究領域について、アジアと大阪の関係を理解する[反転学習・講義] ② 大阪の課題をグループで研究し、成果を提案する[FW*・プレゼン・小論文] ③ アジアの現状と課題について課題を発見する[反転学習・講義]					
2年 生	① 研修旅行（タイ、全員）で3つの研究領域の課題について認識を深める[FW*] ② アジアの課題をグループで研究し、成果を提案する[FW*・プレゼン・小論文] ③ 即興型英語ディベート及びタイ、フィリピン等の高校生と討論する[Skype] ④ 研究領域間討議で新たな課題を発見し、更なる研究へ発展させる[ジグソー]						
3年 生	① 課題解決策を提案し実践につなげる[アクションプラン・論文(日・英)] ② 意識の高い生徒を選抜し、提案の実現性について現地調査する[アジアFW*] ③ 本校主催の発表会や各種コンテストで成果を発表する[プレゼン・総括論文]						
<p>⑧ -3 上記以外</p>	<p><b>(1) 課題研究以外の研究開発の内容・実施方法・検証評価</b></p> <p>①全教科でアクティブ・ラーニングを導入し、生徒が能動的に協働する双方向型授業を展開し、課題解決力及びコミュニケーション力を養う。</p> <p>②大阪教育大学アセスメントグループ(仮称)と連携して独自の評価指標を開発する。課題研究及び教科等のカリキュラムの教育効果を測定し、その妥当性を検証する。</p> <p><b>(2) 課題研究の実施以外で必要となる教育課程の特例等</b> なし。</p> <p><b>(3) グローバルリーダー育成に関する環境整備、教育課程課外の取組内容・実施方法</b></p> <p>外国語運用能力の向上として、e-learningによる自学自習の環境を整備し、カナダ語学研修、台湾交換留学、ASEPへの参加を推奨する。</p>						
<p>⑨ その他 特記事項</p>	<p>大阪教育大学との接続入試の整備。インクルーシブ教育システム構築モデル事業(文部科学省指定。平成25年度)。文部科学省指定学力向上拠点形成事業を受託(平成18～20年)。「総合的な学習の時間」に関する大阪教育大学附属平野中学校との共同研究。高雄師範大学附属高級中学[台湾]及びトリナムウドムスクサ高校[タイ](協定締結校)</p>						